

富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、地域教育の「横の連携」と「縦の接続」を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。

## ◆ [都留市・西桂町地域の「中・高連携連絡会議」]

12月17日(月)、生徒の健全育成を目指す『中・高連携連絡会議』が、桂高校を会場に開かれました。この会は旧都留学区内の中学校と高校を対象としたもので、今年度で12回目を数え、生徒指導上の情報交換や、授業・部活動・課外活動を含めた連携のあり方を検討する会議です。この日は中学校と高等学校、教育事務所から計17名が出席して、各校の課題や取り組み、今後の連携のあり方、将来を見据えた進路指導等について様々な意見交換がされました。

生徒指導に関しては、携帯電話やネットによるトラブル、不登校生徒の状況、生徒指導のあり方、また、学習意欲喚起のための工夫等、各校の発表と質疑応答、意見交換が積極的に行われました。

## ◆ [ひばりが丘高校 公開授業]

ひばりが丘高校(薬袋秀樹校長)では、1月24日(木)、25日(金)と第3回授業公開が昼間部、夜間部それぞれで行われました。保護者、学校評議員、教育関係者等は、生徒たちが真剣に学習に取り組む姿を参観しました。各授業とも小人数に分けられ、一人ひとりの生徒の学力面、精神面の成長を願いながら、学習内容の確実な定着を図るために、綿密な計画の下、丁寧で工夫された授業が展開されていました。各クラスの授業では、先生方が生徒にとって「わかる授業」を心がけて、授業を展開している様子が見て取れました。生徒とできるだけコミュニケーションをとり、生活場面や身近な素材と関連させながらのポイントを押さえた指導に、生徒たちも引き込まれるように、熱心に取り組んでいた姿が印象的でした。

## ◆ [都留高校 公開研究授業及びSSH研究発表会]

2月4日(月)、都留高校(森屋政文校長)で公開研究授業及びSSH研究発表会が行われました。SSH運営委員、学校評議員等のSSH関係者の他、地域の中学校関係者、県及び全国の高校関係者などが参観しました。2校時「Super数学I、Super化学I」、3・4校時「サイエンスダイアログ(フェロー講演会)、他の全ての授業」が公開され、保護者、中学校の先生方、教育関係者が各教室を参観しました。授業の進め方も各教科・科目で特徴があり、1年間のまとめの時期で生徒が整然と授業に取り組み、積極的な発言をするなど、違った雰囲気の研究授業を参観することができました。午後からは、生徒によるSSHグループ研究のポスターセッション、代表発表会が行われ、数学・物理・化学・生物・地学班の継続的な研究、地域の特色を生かした研究など1年間の研究成果が発表されました。最後にSSHの研究概要を含めた研究報告が行われました。研究報告では、これまで、科学講座の開講、大学・研究機関との連携事業、地域との連携事業、教育課程の開発などを進めてくる中で、在校生・卒業生の進路選択等に大いに役立ち、学校内の活性化にも好影響を与えたことが報告されました。将来的にSSHの事業の成果は地域だけでなく、日本の科学振興にもつながっていくものと感じました。



## ◆ [谷村工業高校 教育実践公開発表会]

2月4日(月)、都留市文化ホール(うぐいすホール)において、谷村工業高校(手塚芳一校長)の教育実践公開発表会が、山梨県立産業技術短期大学の校長、山梨県立大学の准教授をはじめ、教育行政の方々、学校関係者、企業



関係者合わせて約 30 名の来賓を迎えて行われました。校長先生から「公開発表会という形で、生徒の学習の成果を“うぐいすホール”で発表するのも今年度で 10 回を数える」等のあいさつの後、生徒の進行により、先ず、1 年生・2 年生の教育実践発表が行われました。1 年生からは、一年次のキャリア教育の骨格として位置づけている、1 年生全員参加のインターンシップの取り組みについて、生徒の体験を通じた感想を交えながらの発表がありました。2 年生からは、2 年次の最も大きな行事である修学旅行について、修学旅行及び学校行事の目標を踏まえた「3 泊 4 日の沖縄修学旅行」について、「平和学習」の内容も交えながらの発表がありました。後半は、3 年生の 4 学科 5 コースの 3 カ年の専門教科の集大成ともいえる、教育課程上に位置づけられた「課題研究」の発表がありました。「機械システム科」、「建設科」、「電子情報科」、「化学・デザイン科デザインコース」、「化学・デザイン科環境化学コース」の順に 4 学科・5 コースからの発表がありました。各発表とも、学科・コースの特性を生かした専門性の高い工業高校ならではの内容でありました。1 年・2 年・3 年の各発表とも、学習の成果をしっかりと言葉で発表しており、「生徒の社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成」に重点を置いた学習活動が感じられる内容であり、プレゼンテーション能力の質の高さを感じました。

### ◆ [上野原高校 第 2 回総合学科発表会]

2 月 16 日（土）、上野原高校（清水 澄校長）では、上野原市の教育長をはじめ、教育行政の方々、高等学校・中学校の校長先生方、学校関係者等の来賓を迎え、また、中学生、保護者などが多数訪れるなかで第 2 回総合学科発表会が行われました。校長先生、上野原市教育長のあいさつの後、開会行事の全校合唱、教員による総合学科の紹介があり、生徒の発表に移りました。生徒の進行により、先ず、“発表Ⅰ”として、2 年次生による「プロジェクト学習について」「インターンシップについて」「英語によるスピーチ」の発表が行われました。次に、“発表Ⅱ”として、1 年次生による「産業社会と人間について」「ドリームスピーチについて」「聞き書きコモンズについて」の発表が行われました。1 年次・2 年次生の発表の後、吹奏楽部によるアトラクションが行われ、躍動感と迫力のある素晴らしい演奏が披露され、来場者を魅了していました。発表Ⅲとして、校長先生、PTA 副会長、代表生徒 4 名による「働くということ（キャリアの形成）」というテーマでのパネルディスカッションが行われました。いずれの内容も、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探求的な学習、生徒の興味・関心等に基づく学習など、創意工夫された総合学科高校の特性を生かした特色ある教育活動を実践しているものでした。各発表とも、学習の成果をしっかりと言葉で発表しており、「言語活動の充実、言語能力の育成」に重点を置いた学習活動が感じられる内容であり、プレゼンテーション能力の質の高さを感じました。



### ◆ [富士北稜高校 第 6 回生徒発表会]

2 月 16 日（土）、富士北稜高校（辻 泰校長）では、山梨県立大学、県立産業技術短期大学の先生方をはじめ、教育行政、学校関係、企業関係の方々を来賓として迎え、また、中学生、保護者などが多数訪れるなかで第 6 回生徒発表会が行われました。校長先生のあいさつの後、生徒の進行により、「電気情報系列」「福祉健康系列」「機械テクノロジー系列」「英語スピーチ」「ビジネス系列・情報系列」「建築デザイン系列」の順で発表が行われました。「英語スピーチ」は、今年度県内で開催された各英語スピーチコンテストに出場した生徒の中から、優秀な成績を納めた 2 名の生徒が代表して発表しました。各系列の発表は、それぞれの特性を生かした専門性の高い、生徒の興味・関心等に基づく、創意工夫された総合学科高校ならではの内容でありました。各発表とも、学習の成果をしっかりと言葉で発表しており、「生徒の進路実現」に重点を置いた学習活動が感じられる内容であり、プレゼンテーション能力の質の高さを感じました。また、教室には各系列と文化部（華道部・美術部・建築研究部・書道部・写真同好会）の作品が展示されており、来賓、保護者や中学生は展示物一つひとつに感心を示しながら見学をしていました。今回の生徒発表会は、総合学科高校として地域に積極的に飛び出し、地域にとけ込み、その中で活動していることが伝わってくるものでした。

